

1. 略歴

- 1989年3月 大阪大学文学部史学科西洋史学専攻 卒業
- 1991年3月 大阪大学大学院文学研究科博士前期課程史学専攻 修了
- 1997年9月 同 博士後期課程 単位修得退学
- 1997年11月 パリ第1大学 博士(歴史学) 学位取得
- 1999年10月 大阪大学大学院文学研究科 助手
- 2000年4月 徳島大学総合科学部 助教授
- 2012年4月 上智大学文学部史学科 准教授
- 2014年4月 同 教授
- 2016年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

フランス近現代史

b 研究課題

19世紀パリの政治社会史、フランス共和主義の政治文化、近代フランスにおけるカトリシズム

c 概要と自己評価

2020～2021年度は、近代パリ史を主題とする単著を完成させた(刊行は2022年5月)。同書は一部に課題を残すかたちになり、とくにブーランジスムについては2022年度以降も研究を継続する必要がある。政治文化に関しては、箕作元八が留学時代にフランス革命期の図像の研究に着手していたことを明らかにした。カトリシズムに関しては、両大戦間期フランスにおける生殖をめぐる議論について研究を進めた(2022年度中に論文として公表予定)。自身の研究課題のうち政治文化とカトリシズムについては研究をさらに進め、いずれ全体的な論を提示できるように努めたい。

d 主要業績

(1) 著書

共著、金澤周作編、『論点・西洋史学』、ミネルヴァ書房、2020.4

(2) 論文

長井伸仁、「箕作元八の見たフランス革命」、『一滴』、第28号、1-26頁、2021.3

(3) 解説

長井伸仁、『わたしたちの歴史 日本から世界へ』の編修に関わって、『山川歴史PRESS』、第3号、6-8頁、2021.8

長井伸仁、「資料読み解き！ 日露戦争の風刺画」、『山川歴史PRESS』、第8号、10-12頁、2022.2

(4) 教科書

橋場弦、桜井英治編、長井伸仁ほか著『中学歴史 日本と世界』、山川出版社、2022.3

市川大祐、吉澤誠一郎、長井伸仁編『わたしたちの歴史 日本から世界へ』、山川出版社、2022.3

(5) 翻訳

共訳、Philippe Boutry、「Le mariage, le divorce et le "mariage pour tous". Les mutations des formes de l'alliance en France du XVIIIe au XXIe siècle」、前田更子、長井伸仁、「結婚、離婚、『みんなのための結婚』：18～21世紀のフランスにおける婚姻形態の変化」、『日仏歴史学会会報』、第35号、35-62頁、2020.6

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、日仏歴史学会、理事、2005.04～

国内、日本西洋史学会、『西洋史学』編集委員、2017.4～

国内、史学会、『史学雑誌』編集委員、2021.6～